

聞かせてほしい

君たちの思いを



第58号
2015年4月5日(年3回発行)

Physicians Against Nuclear War (PANW)
核戦争に反対する医師の会
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-5-5
新宿農協会館 全国保険医団体連合会内
電話 03(3375)5121 FAX 03(3375)1885
e-mail: panw@doc-net.or.jp
http://no-nukes.doc-net.or.jp/

【出席者】

本田 孝也 (長崎県保険医協会会長)
黒木 正也 (長崎県保険医協会新聞広報部長)
小柳 雅樹 (活水高校2年)
西ノ首百香 (長崎北陽台高校2年)
横山 香奈 (長崎北陽台高校2年)
若杉 康平 (長崎南山高校2年)

「高校生平和大使・高校生1万人署名」として長崎からはじまった若者の活動が今では世界中から核兵器廃絶を求める署名を集め、組織は全国に拡がっている。政府の「ユース非核特使」として、国連に署名を届けるなど、その活動には大きなエネルギーを感じる。今回は4人の高校生から、平和への思いや活動を通じて得られた経験などを聞いた。



本田孝也常任世話人
(長崎県保険医協会会長)

署名は世界で100万筆に ビリョクだけど、ムリョクじゃない！

累計が100万筆を突破したことです。昨年は過去最高の年間19万筆を超える署名を集めることができました。

黒木 高校生と接点を持つのは初めてです。今日はよろしく願います。
本田 昨年広島でIPPNW(核戦争防止国際医師会議)の総会があつて、その時に世界中から高校生が集まりました。
若い人たちの熱気を感じて感心しました。今日は楽しみにしています。
全員(元氣よく)よろしく願います。
黒木 現在の活動のトップクスや署名の状況などを紹介下さい。
西ノ首 私は2013年、1年生の時に平和大使を務めました。その年の一番大きな出来事は署名の

黒木 日本政府が認めた特使であることには驚きです。その署名数も多いですが、私たちも署名を行います。署名は世界で100万筆に



横山 香奈さん



☆高校生1万人署名活動とは☆

2001年1月、高校生平和大使募集をきっかけに集まった高校生たちは、「核兵器廃絶をめざす活動を自分たちの力で」と考え、署名活動を立ち上げた。発足当初、「長崎の高校生は1万人くらいいるだろう」ということで、「高校生1万人署名活動実行委員会」がはじまる。

活動は署名だけでなく、長崎を訪れる中・高校生や留学生との交流、災害発生時の救援募金活動も行っている。また、高校生アジア子ども基金、在韓被爆者との交流など、アジアを中心にした国際交流も行っている。

署名活動は、長崎以外にも神奈川、福岡、大分、熊本、広島などに実行委員会があり、それぞれに活動している。

※ホームページは「高校生1万人署名」で検索

(写真は同会HPから)

積み重ねてきた先輩方の思いをモチベーションにして頑張っています。
黒木 皆さんのスローガンに「ビリョクだけど、ムリョクじゃない」とありまして、大変よい響きで、意義深い言葉だと感じています。



西ノ首百香さん

西ノ首 署名ひとつで何かが変わるわけではないし、すぐには世界平和、核兵器廃絶という目標が実現できるわけではありませんが、世界は人々が動かないと変わりません。国連に行つて一番感じたのは、私たちの活動は、はじめは本当に微力だったけど、今では政府もユース非核特使として認めています。活動が広まった成果です。積み重ねることに意味があると思います。否定的な問いかけがあれば、この

署名で世界が変わるわけではないが… 発信し続けることが大事

黒木 本当にいい響きです。周囲の理解はどうですか。学校でも集めたりするんですよ。

若杉 文化祭の時に集めています。協力的な先生もいますけど、「そんな活動をやってなんの意味があるのか」と否定的な先生もいます。

小柳 私の学校は部活に平和活動があつて、爆心地に近いので平和学習はとて盛んですし、先生たちの理解は得られやすいです。

黒木 インターネットの世界ほど、戦争や核兵器を容認する発言が多いようです。そんな発言に接する機会

核実験がなくなりました。署名を行う人がひとつになる時に大きな力になります。今の時代に100万筆はすごいです。
スローガンの「ビリョクだけど、ムリョクじゃない」は誰が考えたんですか。
全員 先輩方です。

西ノ首 授業でアメリカの原爆をつくった人たちのビデオを見たのですが、そこでは大半のアメリカ人は「広島・長崎に原爆を落としたことで戦争が終わった」と肯定的に教えられ、信じていて、原爆記念Tシャツも売られていることを見聞きました。アメリカの教育が悪いのではなく、真実が伝わっていないことが悲しくなりました。

黒木 そういうことに対して、国連に來ている代表はどうなんですか。皆さんの活動は、好意的

ガンマ線

今年介護報酬改定の年である。介護サービス受給者数は2000年の149万人から2013年度には471万人と3.2倍に増加したが費用は3.6兆円から9.4兆円へと2.6倍に増加したに過ぎない。来年には診療報酬の改定が行なわれるが高齢者の負担増をはじめ患者負担増の計画が目白押しである。いずれも政府が財源不足を理由に国庫負担を削減してきたことが根本問題である。

▼戦後70年目で戦争経験者が存命の今こそ子どもたちのために、社会保障の問題を議論するだけでなく、安全保障の問題も「平和を基盤とする福祉の国造り」の実現のために大いに議論して頂きたい。

▼政府与党は、憲法9条を骨抜きにし、米国の戦争にどこまでも付き従う集団的自衛権の行使のための自衛隊法の改正や新たな憲法の公布を目論んでいる。特定秘密保護法の施行や教育委員会制度の改悪や教科書検定の強化や道徳教育の必須化や18歳からの選挙権行使など戦前の富国強兵策に若者を従わせようとしている。

▼命を守る私たち医師は、待合室から「平和の希求」のための運動を強化する時だ。9条の会が呼びかけた「1. 集団的自衛権行使を容認した「閣議決定」の撤回を求め、これに基づく全ての立法や政策に反対します。2. 日本国憲法第9条を守り、活かすことを求めます。」署名を1000万筆集めよう。

に報道されていますが、現地では実際どうなんですか。「原爆が必要だった」と言ってくる人はいないんですか。

小柳 それはいいです。私は国連でスピーチさせていただきました。いろんな方にコメントや感想をいただきました。国連の軍縮会議に携わっている方は私たちの活動に関心を持っていただいていますし、軍縮会議の局長さんと面談したときも「ぜひ続けてください」と私たち若者への期待がありました。

黒木 純粹に反核を訴えている活動が認められているのでしょね。国連には署名は事前に送っているんですか？

全員 自分たちで運んでいます（笑い）。
本田 19万人分をですか。どれくらいですか。

全員 机いっぱいです。
本田 スピーチの内容はどんなことを話すのですか？



若杉康平さん

黒山 私は高校1年生のときから活動しています。署名活動の大切さは日頃から感じていて、応援してくださる人もいれば、そうでない人もいます。支えてくれる人もいれば、反対する人もいます。そういう環境だからこそ、「核兵器反対」を訴えることが大切だと思います。活動を通じて、友達をはじめ、たくさんの人たちが署名の意義を知ってもらっていると感じています。

黒木 皆さん、英語は大丈夫なんですか。
小柳 残念ながら通訳がい

西ノ首 私は、長崎で起こったことや被爆者を二度と作らないという決意を話しました。東北からは東日本大震災の復興状況、広島は広島のことを、静岡では第五福竜丸のことを、それぞれの場所から起きた出来事や平和への思いをそれぞれ話しました。

黒木 皆さん、英語は大丈夫なんですか。
小柳 残念ながら通訳がい

いないので、何とか身振り手振りで（笑い）。ペラペラではないですけど…。

高校生1万人署名

「加害」の部分も学んで核兵器廃絶と平和を広げたい

黒木 皆さん、3年生の受験前までは続けていくと思いますけど、先輩を見てきて、自分は将来どうしようとか、考えていることがありますか。

若杉 教育が一番大事だと思っています。世界中には教育を受けられない子どもが多くいますし、教育を受けることで平和に対する意識も変わってくるだろうと思います。だから、私は発展途上国の人たちに教育、日本語を教えながら、平和についても教えていきたいと思っています。日本に戻ったら私の経験も日本人たちに伝えていきたいです。（一同「すごい」の声）



黒木正也医師
(長崎県保険医協会新聞広報部長)

どかしさを感じました。大学では外国語を専攻して、コミュニケーションがとれるまで磨きをかけて、自分の経験をしっかりと外国語で世界のの人に伝えたいです。

西ノ首 県外で私たちの活動を知らない人に活動を知ってほしいと思っています。東京にはたくさんさんの先輩がいるので協力して、活動を大きくしたいです。

黒木 先輩から高校生の時に思い描いていたことと違うような経験を聞いたりすることもありますが、小柳 やつぱり長崎で活動していた時と、東京の人では意識がまったく違って、ギャップを感じています。ことはよく耳にします。長崎で訴えてきたことが東京では通じにくくなっているの、「自分の思いをしつかり伝えていくことが大切だよ」と話されていました。



小柳雅樹さん

小柳 私は職業は決まっていらないのですが、大学生になっても高校生を支えていく立場でありたいです。大学でも平和について学びたいです。

黒山 スイスやフィリピンに行った時に、英語が話せなくて、自分の思いを伝えたいのに伝えられないも

黒山 スイスやフィリピンに行った時に、英語が話せなくて、自分の思いを伝えたいのに伝えられないも

に日頃私たちの活動をプレゼンする機会があつて、その場で署名をお願いしたことはあります。直接路上で署名活動することはできなかったです。皆さん、よく理解してくれました。署名はフィリピンや韓国からも集まっています。ちょうど今頃、長崎から1人、岩手から2人、フィリピンを訪問しているところです。毎年、交流を深めています。

本田 日本は原爆の被害だけでなく、アメリカだと「パールハーバー」。中国や韓国などでは非人道的な行為を行っていて、加害者でもあります。皆さんにはどう伝わって、映っているんでしょうか。

若杉 昨年3月に韓国を訪問しました。強制連行された人をはじめ多くの人が被爆して在韓被爆者となっています。その人たちが、日本では外国人として差別され、韓国に戻れば被爆者として差別されたことに、とても胸が痛みました。

西ノ首 学校では被害のことしか教えられません。昨年8月に福岡の戦争資料館を見学したのですが、そこには加害の部分での展示の分も勉強しなくてはいいなと思いました。

黒山 小学生から平和教育を受けてきたのですが、被害のことしか知らなくて、小学5年生の時にはじめて加害の部分を知りました。そのきっかけは、学校の平和教育の一環として、岡まさはる記念長崎平和資料館をフィールドワークして訪れた時でした。今まで知らなかった自分がとても恥ずかしくなりました。原

爆の被害を知る長崎に生まれ育った者として、もったいない。日本の加害の部分も学んで、はじめて、原爆の被害を伝えられると思います。

本田 皆さん、731部隊を知っていますか？

全員 ……
本田 中国人に同じ質問をすると皆知っていました。大戦中に細菌兵器を作っていた石井部隊があつて731部隊と呼ばれていました。現地の中国人を人体実験用に集めて細菌兵器を開発していました。実験用の人間を「マルタ」と呼び、人体解剖をやったのは私たちと同じ医師です。731部隊の戦争責任をはっきりさせようという活動もやっています。日本の医学界は戦争責任を認めていません。日本人で知っている人も少ないです。作家の森村誠一の作品「悪魔の飽食」の舞台です。ポーランドのアウシュヴィッツ収容所は

聞いたことがあるでしょう。
全員 はい。
本田 そこでも非人道的な行為が行われていたことが、ドイツの医師会は戦争責任を認めています。日本が認めなかったのは、731部隊の実験成果が医学的に貴重なもので、それをアメリカに渡すことで罪を免れているからです。もう時代は被爆三世から四世の世代になります。それだけ、世界に発信できる若い世代が増えているとも言えますね。いろんなところで活動しているんですよ。

全員 インド・ドイツ・メキシコ・オランダ…
黒木 素晴らしいですね。私が事実を学ぼうとすると図書館で本を読んだり、ネットの情報に触れるぐらいですが、実際現地へ行って体験したり真実に触れることが何よりも一番だと思います。

本田 今回「聞かせてほしい君たちの思いを」というテーマを選択しました。活動されてきて、こんな物わかりがよい大人ばかりではないでしょう（笑い）。大人への想いとか、何かないですか。

大人への想い 関心を持ってほしい

本田 今回「聞かせてほしい君たちの思いを」というテーマを選択しました。活動されてきて、こんな物わかりがよい大人ばかりではないでしょう（笑い）。大人への想いとか、何かないですか。

黒山 署名活動を行っている時も、皆が協力していただけるわけではありませんが、高年齢の方は興味を持って署名をしてくれるんですけど、全世代に知ってもらえていないのも一つと、署名の効果を実感していただいて、一人ひとりが関心を持ってほしいです。

黒木 今日は皆さんのお話が聞けて心が洗われる感じがしています。ありがとうございます。今後のさらなる活躍を期待します。

被爆70年NPT 再検討会議に向けて

田中熙已被団協事務局長に聞く



す。元気な人もまた「いつ後遺症が現れるかわからない」「子や孫への影響は大丈夫だろうか」という不安に今日までさいなまれ続けています。

広島・長崎への原爆投下から70年。今年4～5月には国連本部（米・ニューヨーク）で核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議が開催されます。日本被団協・田中熙已被団協事務局長に思いを聞きました。

**被爆の実相を伝える
原爆展と証言**

被爆の苦しみは、私たちが最後にしたい。日本被団協は今年「被爆70年運動」に取り組みます。NPT再検討会議にあわせ、国連本部で原爆の実相を伝えるパネルを50枚展示し、証言もおこないます。核廃絶を訴えるため、ニューヨークの街も歩きます。

＊ ＊

身内5人を奪った原爆

私は1945年8月9日、13歳のときに長崎市で被爆しました。爆心地から3・2キロの地点の自宅で被爆しました。ガラス戸や格子戸の下敷きになり、気を失いましたが、奇跡的に助かりました。しかし安否を確認しようとたずねた父方のおばと従兄は、焼死体となっていました。母方の祖父・おば・おじも亡くなりました。原爆は一度に私の身内を5人も奪った。母方のおばの遺体は、焼け野原と化した街から、燃え残った木材を集め、私が茶毘に付しました。

私は幸い、大きな病気に

かからずにきましたが、多くの被爆者ががんや白血球・白内障など、原爆の後遺症に苦しめられていま

核廃絶の運動、受け継いで

再検討会議に際し、被団

協では各国の大使にも会い、核兵器廃絶をはたらきかける活動をしてきました。こうした活動が「核兵器の人道の結末に関する国際会議」（昨年末、オーストリア）で「核兵器廃絶に向けた法律の枠組み」を検討すべきだとした議長総括などに結実してきたと思います。

被爆者には時間がありま

せん。次の再検討会議のとき、再びニューヨークに行けるだろうか。被爆80年を迎えるのは、さらに難しいでしょう。若いみなさんに、原爆被害の実態を語り継ぎ、核兵器を廃絶する運動を受け継いでほしい。

医学生らが 大間町町長を取材訪問

下北半島原発フィールドワーク

昨年12月6～7日、青森民医連は医学生5人と医師一人を含む10人で「下北半島原発フィールドワーク（FW）」を行った。

FWでは最初に医学生と職員が2人1組になって地元商店や自宅に訪問。大間の住民に建設中の原発について聞き取りを行った。町民からは「反対とは言えないし、町民同志では話ができない」「考えたこともない」「やめたほうがいいと思うが経済的にやむを得ない。」「本当は賛成ではない。」「あそこはうす」の熊

谷あさこさんが正しかった」との声があった。話に込めてくれた町民7人の中で、積極的に建設に賛成していた人はいなかった。

その後、大間町の金澤満春町長との懇談を行った。金澤町長は「原子力技術は必ず発展し、安全に使えるようになる。反対の意見も分かっているが、私の賛成の立場は変わらない」と発言。医学生たちは、大間町の安全性の確保や原発以外の町おこしの方法、大間町の住民の意見などを質問。町長は医学生たちの質

3・1ビキニデー ―核保有国への厳しい批判 被災61年、2千人で賑わう

静岡 間間 元

ビキニ被災から61年、2015年3・1ビキニデー集会在第五福竜丸の母港である焼津市で開催された。

今年が被爆70年とNPT再検討会議の直前という時期に重なったのか、いつになく多くの参加者でにぎわった（2千人）。当日の午前には久保山愛吉献花墓参行進が行われるが、雨の中で千人余が集まった。

中野弘道焼津市長の歓迎のあいさつの後、広島・長崎両市長とマーシャル諸島共和国駐日大使からのメッセージが紹介されたが、いずれも核兵器廃絶に消極的な核保有国への厳しい批判が込められたものであった。

ビキニデー集会の特徴は多様なゲストの登場である。第五福竜丸元乗組員の大石又七氏は脳出血後遺症にもかかわらず車椅子で登場し満場の拍手を浴びた。40年にわたり高知で幡多高校生ゼミナールを主導、ビキニ被災船員調査を行ってきた元高校教師山下正寿氏はビキニ被災と福島原発事故を重ね合わせ、若い人たちに大きな期待を語った。



大石又七氏

事件当時中学生で原水爆禁止署名を始めた地元焼津の会社経営者杉村征郎氏、焼津平和賞を創設し、平和教育の一環として中学生の広島長崎派遣事業を始めた前市長清水泰氏の話も焼津ならではの話である。

海外代表では米国、韓国の市民活動家、そしてマーシャル諸島・ロンゲラップ環礁島民の若手活動家であるピーター・アンジャイン氏が登場した。集会のお楽しみのものである文化企画では、事件当時焼津の青年団が作った「3月1日の歌」が初めて紹介された。

例年に比べ、若い人が目立った集会だった。



金澤満春大間町町長（正面）に疑問をぶつける医学生ら

「戦争が可能な事態」

代表世話人 飯田 哲夫

反知性主義（客観性や実証性を軽んじ、自分が理解したいように世界を理解する）や、いわゆる歴史修正主義（客観的な歴史学の成果を無視し、自己のイデオロギに都合のよいように過去に関する記述を修正する）に支配層が陥って起こる問題の一つに、同じアジアのいくつかの国が潜在的な敵に見えるという危険性があるのではないかと。そして今、首相は戦前への回帰、戦争の出来る国へ突き進むとしていて、最近の動きでは、武力攻撃事態法から武力攻撃予測事態法（いずれも個別的自衛権）から、遂に集団的自衛権そのものといえる存立事態法に突き進み（更にそれへ経済的被害が生じかねない事態まで含め）、自衛隊の海外派兵を個別の国会審議が不要になる恒久法化し、さらに文民統制を形骸化、国会承認は事後でもよいなど、憲法九条は実質解体されてしまっている。まさに海外で戦争することが事実上可能な国、戦争なんでもありの国にされてしまう。そして法解釈上、その違憲裁判は機能し難いと云われる。今この危険な流れを止めない限り、将来に大きな禍根を残す事になる。

広島・長崎被爆70周年

「核のない未来を！世界核被害者フォーラム」に参加しましょう

実行委員会共同代表 (常任世話人) 青木克明



11月21・23日に広島長崎の市民団体により広島国際会議場で「核のない未来を！世界核被害者フォーラム」が開催される。

広島・長崎の被爆者は、今も放射能の影響に苦しんでおり、福島原発事故では東日本の膨大な市民が生きてる権利と生活を奪われている。

核利用のサイクルはウラン採掘に始まり、精錬、核兵器・核燃料製造、核実験、

核兵器使用、原発稼働、原発事故、使用済み核燃料の再処理、核廃棄物の保管・処分、劣化ウラン兵器使用など、あらゆる段階で放射能による広範な環境汚染と人体への深刻な影響をもたらしてきた。

私たちは、広島、長崎被爆70周年に当たり、核利用がもたらした非人間的な核災害の原点・ヒロシマで「核と人類は共存できない」という核絶対否定の理念を掲げ、核兵器を廃絶し核利用を根絶するために世界核被害者フォーラムを開催しようとしている。また、3度目の核兵器使用を食い止めるための大きな力となる

情報センターを設置し、核利用サイクルを断つための国際的ネットワークを作る基礎を固める場とする。フォーラムの宣言としてヒロシマから「世界放射線被害者人権憲章」を世界に発し、国連人権委員会、国際赤十字、国際NGOなど国際社会への働きかけをして核被害の根絶のために連帯していく。

反核医師の会のみならずもぜひフォーラムにご参加いただきたい。

世界から核被害の根絶を！世界の核被害者はヒロシマに集まり、連帯の絆を結ぼう！

広島・長崎被爆70周年

核のない未来を！世界核被害者フォーラム

(広島：2015年10月10日及び11月21日・11月23日 広島国際会議場他)

福島原発事故から3年が過ぎたが、汚染水漏出など放射能汚染の危険性はより深刻になり、核被災者の置かれた状況は悪化し続けている。にも関わらず、福島原発は廃炉作業が完了せず、汚染水は海に注ぎ続けられている。ウラン採掘には止まる核利用のあらゆる段階で、核被害が生み出され現在も増え続けている中で迎える2015年広島・長崎被爆70周年を機に、核がもたらしている被害の実態を明らかにし、核利用の根絶と核被害者の救済を目指すため核被害者の国際的連帯の場を設けたいと願う。核被害者とはどのような人か、核利用のサイクルを断つための国際的ネットワークを作る場への結集を図る。「世界放射線被害者人権憲章」をヒロシマ・フォーラムから世界に宣言しよう。

＜プログラム概要（仮定セッション）＞

基調講演／広島・長崎被爆者特別セッション／福島原発事故／反原発・反核燃料サイクルキャンペーン／核兵器禁止キャンペーン／ウラン採掘・劣化ウラン兵器禁止・核廃棄物安全管理キャンペーン／世界放射線被害者人権憲章

海外・国内から招聘したい方々

- ・ウラン鉱山被害（インド）
- ・広島・長崎被爆者
- ・核実験被害（太平洋諸島、米風下住民、セビラチンスク）
- ・第五福竜丸被害者
- ・原発事故被害（チェルノブイリ事故被害）
- ・福島原発事故被害者
- ・劣化ウラン被害（イラク）
- ・反核・反原発など運動団体
- ・被爆労働被害（チェルノブイリ事故被害）
- ・法律・医療、医学などの専門家及び一般参加者
- ・医科学専門家、NGO組織、法律専門家など

世界核被害者フォーラムを実現するためには、海外、福島、長崎などの関係者、会場などかなりの基金が必要で、団体賛助金、個人賛助金、ボランティアなど皆さまの協力をお願いいたします。

【郵便振替】世界核被害者フォーラム・実行委員会 01380-4-103175

主催：世界核被害者フォーラム実行委員会

共同代表 青木克明（HANWA） 朝長万寿男（長崎県地産市産品実行委員会）

高橋信雄 NO DU (ICBUW-Japan)

事務局 〒731-5135 広島市佐伯区海老園3-2-18 NO DU ヒロシマ・プロジェクト受付

TEL/FAX 082-921-1263 haruko.jp@gmail.com (事務局長 森重香子)

会費納入のおねがい

反核医師の会は、会員のみならずの会費と、主旨に賛同いただいている募金によって運営しています。今年度は例年開催の「つどい」を(10月31日(土)～11月1日(日))に愛知で開催するほか、戦後70年、被爆70年に関する様々な取り組みが予定されています。

2015年度(2015年4月1日～2016年3月31日)会費納入のほど、よろしくお願いいたします。

会費は 個人会員(医師・歯科医師、医学者) 10,000円 医・歯学生会員 1,000円 賛助会員 1,000円

振込先 ◇りそな銀行 新都市営業部 普通 1557502 「反核医師 医学者の集い」

◇ゆうちょ銀行(他銀行からの振り込みの場合) ○一九支店 当座 0056764 「反核医師・医学者の集い」

◇郵便振替 00170-7-56764 「反核医師・医学者の集い」

長崎被爆体験者訴訟

常任世話人 本田孝也



をそろえる。しかし、長崎の被爆地域は旧長崎市の行政区によって制定されたため、被爆地域以外の住民は被爆者ではなく、被爆体験者と呼ばれている。

2007年、これを不服とした住民らが起こしたのが被爆体験者訴訟(第一陣)である。5年間の審議の末、

地裁では、「被爆未指定地域では、ほとんど放射能が測定されなかった」とい

ある事情のもとにあったとは認められない」として原告の訴えを退けた。

395人の原告団は、ただちに福岡高裁へ控訴した。

被爆未指定地域では1990年の残留プルトニウム調査により、最大で25mSvという被曝線量が推定されたが、その後の厚生省の検討会は「25mSvでは原爆の残留放射能による健康影響はない」と結論づけた。

争点は低線量被曝、内部被曝の人体影響に移った。「100mSv以下の被曝では人体影響はほとんどなく、内部被曝は軽微である」とする被告側、鈴木意見書と、「放影研の黒い雨データ、黒い雨の降った西山区に発生した白血球増多、染色体異常、被爆未指

定地域住民の甲状腺内部被曝線量の推定等から、人体影響の可能性は高い」とする原告側、本田意見書は真つ向から対立。

裁判も大詰めを迎え、長崎地裁で争われている第二陣訴訟における、2015年4月13日の本田証人尋問、6月22日の鈴木証人尋問を残すのみとなった。証人尋問調査をもとに高裁でも判決が下りる予定である。

被爆70年の区切りの年、住民の積年の願いに応えるべく、全力を尽くしたい。

意外に見入ってしまった。最近では地震や原発事故直後の状態を映像として目にするのがなかったからかもしれない。しかし、何か物足りなさを感じた。悲惨な状況に結ばれた若い男女の恋愛物語のような印象を受ける。また、原発の詳細は描かれず、社会問題としてあまり掘り下げられてはいないし、主人公たちの苦悩が意外にあつさり描かれている。終わる方も、どこまで過去を葬り去って生きていこうとするように感じられる。

いくつか批判的にみてしまったが、ただ、この映画を2011年3月以前に見ていたらどうだっただろうか。見えないうちの放射能への恐怖は十分表現されていたのではない。東日本大震災と福島第1原発事故のあとだからこそ、この映画が絵空事ではないことが証明されている。原発をもつ国々への警告となっていた。映画としては物足りなさを感じるのはごく当たり前のことであり、それは、現実の方がより現実的に決まっているからだ。実

シネマ案内

映画「みえない雲」を見て

勤医協札幌西区病院内科 逸見由紀

原作はチェルノブイリ原発事故の翌年(1987年)にドイツで発表された小説「DIE WOLKE」で、映画は2006年に発表された。

主人公が学校でABC警報により原発事故を知らされる。ABC警報は、核兵器、細菌兵器、化学兵器による攻撃に対する警報だ。

授業は中断し、休校となり生徒はばらばらに帰宅する。平穏な日常生活の中で起きた突然の緊急事態だが、市民はどこで何が起ったのか把握する情報は得られない。警察は窓

や換気扇を閉めて地下室に逃げるよう伝えている。市民は逃げ惑い、町から離れようとする人々が駆はごったがえている。後半では、被ばくの身体症状により10代の青年は死を意識し、恐怖や絶望を感じながらも、最後には希望を見出して

いくつか批判的にみてしまったが、ただ、この映画を2011年3月以前に見ていたらどうだっただろうか。見えないうちの放射能への恐怖は十分表現されていたのではない。東日本大震災と福島第1原発事故のあとだからこそ、この映画が絵空事ではないことが証明されている。原発をもつ国々への警告となっていた。映画としては物足りなさを感じるのはごく当たり前のことであり、それは、現実の方がより現実的に決まっているからだ。実

意外に見入ってしまった。最近では地震や原発事故直後の状態を映像として目にするのがなかったからかもしれない。しかし、何か物足りなさを感じた。悲惨な状況に結ばれた若い男女の恋愛物語のような印象を受ける。また、原発の詳細は描かれず、社会問題としてあまり掘り下げられてはいないし、主人公たちの苦悩が意外にあつさり描かれている。終わる方も、どこまで過去を葬り去って生きていこうとするように感じられる。

いくつか批判的にみてしまったが、ただ、この映画を2011年3月以前に見ていたらどうだっただろうか。見えないうちの放射能への恐怖は十分表現されていたのではない。東日本大震災と福島第1原発事故のあとだからこそ、この映画が絵空事ではないことが証明されている。原発をもつ国々への警告となっていた。映画としては物足りなさを感じるのはごく当たり前のことであり、それは、現実の方がより現実的に決まっているからだ。実

意外に見入ってしまった。最近では地震や原発事故直後の状態を映像として目にするのがなかったからかもしれない。しかし、何か物足りなさを感じた。悲惨な状況に結ばれた若い男女の恋愛物語のような印象を受ける。また、原発の詳細は描かれず、社会問題としてあまり掘り下げられてはいないし、主人公たちの苦悩が意外にあつさり描かれている。終わる方も、どこまで過去を葬り去って生きていこうとするように感じられる。



Amazon.co.jp 3,294円(税込み)

意外に見入ってしまった。最近では地震や原発事故直後の状態を映像として目にするのがなかったからかもしれない。しかし、何か物足りなさを感じた。悲惨な状況に結ばれた若い男女の恋愛物語のような印象を受ける。また、原発の詳細は描かれず、社会問題としてあまり掘り下げられてはいないし、主人公たちの苦悩が意外にあつさり描かれている。終わる方も、どこまで過去を葬り去って生きていこうとするように感じられる。

意外に見入ってしまった。最近では地震や原発事故直後の状態を映像として目にするのがなかったからかもしれない。しかし、何か物足りなさを感じた。悲惨な状況に結ばれた若い男女の恋愛物語のような印象を受ける。また、原発の詳細は描かれず、社会問題としてあまり掘り下げられてはいないし、主人公たちの苦悩が意外にあつさり描かれている。終わる方も、どこまで過去を葬り去って生きていこうとするように感じられる。

意外に見入ってしまった。最近では地震や原発事故直後の状態を映像として目にするのがなかったからかもしれない。しかし、何か物足りなさを感じた。悲惨な状況に結ばれた若い男女の恋愛物語のような印象を受ける。また、原発の詳細は描かれず、社会問題としてあまり掘り下げられてはいないし、主人公たちの苦悩が意外にあつさり描かれている。終わる方も、どこまで過去を葬り去って生きていこうとするように感じられる。